

以上の各地区のご意見を纏めると

14年 実施	15年 実施	その他	計
1	4	7	12

各地区意見と 3/9 委員長会議踏まえ、本来は理事長会議で議論し方向付けしたら一番いいが時間的にも厳しく会則踏まえ、**井村にて見解**を纏めたいと思う。

1、 去年10月議論し概略の方向付けに従い、不備な点をメールで質疑応答をしHPにも公表した(HPを見ましたか)。この時に12月を期限とし、理事会を開催すべきだったと反省しています。それまでの建設的議論から結論を煮詰めるべきだったと思います。

2、 その反省、一応の論踏まえ、**2015年4月1日(予定)創設目途に進めたいが**、についてはプロジェクトを新設し、関係者で議論したい。

- ① プロジェクト名 ジュニア基金
- ② 期間 2014. 4～7 プロジェクトで大いに議論し、8月にTTA委員長会議と理事会で承認としたい。
- ③ メンバー リーダー 柚木副理事長 事務局長 森田ジュニア委員長
各地区協会の ジュニア担当責任者+その他必要な関係者

④ 検討内容

- 1) 時期尚早という意見もあるが、1～2年の遅れは、栃木県として10年の遅れに匹敵する
- 2) ジュニア委員会等多くの関係者の様々な意見により、ピラミッドのトップ層と共に、少子化時代とはいえ底辺に当たるP/S(3/22(土))のJTA補助による講習会に各地区のジュニア委員会も参加して欲しい等の普及を平行して進める必要がある。
- 3) 2016年予定で、消費税10%の問題も平行して議論、ジュニアの大会参加費のあり方。
尚、競技運営委員会での大会参加費の検討とバランスをとる。
- 4) 今後ともテニス人口の増に努力し、登録人員の増を図り、参加し易い土壌作りと、緊張感あるエキサイティングな大会作りに努める必要がある。
- 5) 繰越金のあり方と万一裁判沙汰となった場合の保険制度の検討(KTAで検討中)

以上